

あしや子ども風土記

伝説・物語

④

芦屋おとめの伝説

芦屋に伝わる伝説は、当時の人々が生活の中で経験した不思議なことや悲しかったこと、嬉しかったことなどを、その土地の山や水・塚・人物などに結び付けて伝えられたもので、歴史上の事実ではありませんが、その時代の背景とともに事実のような話となって、伝えられたものです。

伝説の中に、語り継がれた昔の人々の願いや物の考え方がよく出ているので、現在の人々にも共感を呼ぶものと思います。

昔、六甲山の麓、葦が生い茂る芦屋の里に、とても美しい乙女が住んでいました。名は「うなひ」といい、優しく近所でも評判の娘でした。家の前を通る人で、娘を見ようと、思わぬものはありませんでした。特に、妻にしたいと願う立派な青年が二人現れました。一人は、芦屋の里に住む若者で、菟原男といい、もう一人は、和泉の国（大阪府南部）の茅渟男でした。

娘は二人の青年を好きになり、一人を選ぶことができずに悩みました。菟原男が六甲山で美しい鳥を獲ってくれば、茅渟男は和泉の海で見事な魚を釣って、娘に贈りました。日を重ねるほど、二人の競争も激しくなり、娘の心は、ただ乱れるばかりでした。この様子を見て心配した母親は、優しく娘を慰め、父親は二人の青年に次のように言いました。



生田川で水鳥を射る 『撰津名所図会』

昔、打出村にお金持ちの長者が住んでいました。

長者は、一つの宝の小さな槌を持っていました。その小槌を打ち振ると、何でも願い事がかなえられるという宝物でした。

この小槌は、元は打出の沖に住んでいた竜の神様が持っていたものだといえられ、竜の神様が人間の姿になって、朝廷にさし上げたものだといわれています。どのようにして長者手に入ったのか分りませんが、昔、都で仕えていた時に、手柄を立てた褒美にもらったのだらうといわれています。

打出の小槌

この小槌は、この上ない宝物でしたが、たまたま一つ困ったことに、鐘の音が聞こえてくると、それまで打ち出した宝物の全てを失ってしまうそうです。

★ノート 「打出」の地名は、打出の小槌の伝説から名づけられたという説もあるが、打出は、旧西国街道を過ぎて初めて海浜に打出る地であり、地形から名づけられたと思われる。



挿絵・山下正峰

★参考文献 『福原景鏡伝』延宝八年（一六八〇）「打出宿 宝船作る うち出の小槌かな」

金津山の黄金

昔、芦屋地方を治めていた阿保親王は、打出の地に別荘を建てて村人たちを愛し、親しみをもつて接していました。

村人たちも親王さんといっただいそう敬っていました。

親王は、村人たちに、もし、自然の災害などで困ったときには、この塚を掘って役立てるようにと、塚に宝物を埋めたといわれており、次のような歌が伝えられています。

朝日さす入日輝くこの下に
金千枚 瓦万枚

この塚は、金津山・黄金塚・金塚などと呼ばれていますが、百九十年ほど昔の絵図を見ますと、街道のすぐ北の田んぼの中に大きな塚があり、その周りに道が作られ、大きな松が描かれています。

「打出名所は、数々あれど、わけて名高い黄金塚」と打出の神輿かき音頭にも歌われ、街道を行く人々がお参りする名所になっていました。

今も金津山は、阪神電車「打出駅」の少し北にあります。民家に囲まれた小高い塚は、「金津山古墳」と呼ばれ、大切に守られ、昔の打出の風景を伝えていきます。

★ノート 昔は、塚の中央に敵島（いづくしま）神社の石のほこらがあつたが、明治四十一年（一九〇八）、芦屋神社に合祀された。金津山のような黄金埋蔵伝説は、各地に多く伝えられている。神戸市兵庫区内でも、神戸市有野町の「古寺山の宝物」、白川の「金鶏伝説」、西脇市明楽寺林の「金のくさり」、三木市や伊丹市の「黄金塚」などがあつた。

★参考文献 『撰津群談』金津山 『兵庫名所記』金津山



★ノート この三つの塚は、今も神戸市に伝わり、如女塚（神戸市東灘区御影塚町）は、南を向いている。後二つの塚は、如女塚を中心に、それぞれ東と西に二キロはなれたところに、如女塚の方を向いて築かれているのが、東求女塚（東灘区住吉宮町）と西求女塚（灘区都通町）であるといわれている。

この悲恋物語は、多くの人々に親しまれ、平安時代には『大和物語』となり、室町時代には謡曲『如女塚』、『求女塚』となった。ただ『大和物語』以降は、生田川が舞台となり、長く文学作品の主題となった。

★参考文献 『万葉集』巻第九（奈良時代）、『大和物語』百四十七（平安時代）

挿絵・山下正峰

●平成五年に発行した「あしや 子ども風土記」ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

サラ金・クレジット問題でお悩みの方、完済された方 広告

◎債務整理の方法は自己破産だけではありません。
◎「任意整理」という方法は、取引が一般に7年以上あれば、借金がかなり減額できる可能性があり、場合によってはお金が戻ってくる場合があります。（過払金）
◎完済されている方でも過払金が生じていることがありますので、完済から10年たっていない方はぜひご相談下さい。

甲東園法務司法書士事務所

完全電話予約制 **0798-54-3259** ■電話受付時間：平日9時～18時
阪急今津線甲東園駅徒歩2分 / コインパーキング(有料)が近くにあります。

着手金無料 費用分割可

認定司法書士に債務整理を委任すると、業者から本人への取立は止まりますのでご安心下さい。

シリーズあしや子ども風土記

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。

第1集「伝記・物語」、第3集「植物のかんさつ」、第4集「小さな生きものたち」、第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各冊400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」、第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。

第2集「歴史さんぽ」、第7集「写真で見る芦屋今むかし1」は完売しました。第1集「伝記・物語」は残部わずか。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。